

平成28年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 楠見西小学校
作成日	平成29年 2月 20日

1、教育目標

豊かな心と実践力のある子どもの育成

- めあてを持って、深く考え、自分から学ぼうとする子
- 心豊かで、美しさに感動できる子
- 強くたくましく、困難にもくじけず、最後までやりぬく子

2、学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会等の学校行事を通して、保護者や地域の方々との連携を図り、学校と地域との協力体制をより強めて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣の定着に努めるにあたり、家庭との連携を図るとともに、関係機関との連携も推進してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国や県が実施する調査の結果を分析しより基礎学力の定着が図れるよう努力してほしい。
取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 核家族化が進む中で、保護者の子育て義務の啓発は難しいと思うが、この啓発を抜きにすることはできないので大変だが努力していただきたい。 ・ 低学年の生活科や高学年の総合的な学習の一環として、地域の方々も参加できる体制を整えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ問題に関して、いじめる側の罪の意識が低いように思う。 ・ 登下校時の子どもの様子を、毎日見させてもらっているが、きちんとあいさつできる子どもを保護者、地域を含め協力して育てていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西っ子タイム(放課後の補習学習)等の活動を通して、授業中発言できる子どもが一人でも増えることを願っています。 ・ 国語力の向上が課題であるとの報告について、学級でスピーチ指導を検討してみてもどうか。
検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者間の協力体制ができてきたように感じる。 ・ アンケート結果から「学校がたのしい」と回答した割合が高く、今後も、明るく、元気な子どもの育成に取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「一人ひとりが大事にされている」との回答の割合が高く評価できる。 ・ いじめの根絶には、まだまだ至っていない現状を踏まえ、学校の取組とともに家庭の教育力の向上を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低学年の児童の中にごく少数だが、授業が分かりにくいと回答した児童がいることを重く受け止めてほしい。 ・ おおむね検証できていると思うが、きめ細かな検証を続けていただきたい。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加型の学習は、学校を知ってもらおう上でも有用だと考える。 ・ 登下校時の見守り隊の皆さんが児童の通過を確認しやすいようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめの取組について、学校・家庭・地域で情報を共有することは、未然に防止することにも繋がる。 ・ 異学年間のつながりを強くする取り組みは、今後も継続し、仲間づくりに役立てて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童数が減少する中、子どもの学習意欲を高めるため、今後も授業改善に取り組んでいただきたい。 ・ 共働きの家庭が多い現状において、家庭で自学自習できる子どもを一人でも増やしていただきたい。

3、その他のご意見